

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立岡山御津高等学校		
実践者等		沼本 淳	実践日	令和4年6月29日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		数学Ⅱ (複素数)		
対象生徒 (学年等)		2年A組		
育成を目指す資質・能力		☒ 知識・技能 ☐ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☐ 思考やデータの可視化		
		☐ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用		
		☐ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☒ 効率化や省力化		
		☐ その他 ()		
	家庭学習	☒ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☒ 補習・定着		

実践の内容 学習ソフト「すらら」で小テストを実施し、期末考査に向けて学習内容の振り返り及び基礎の定着を促す。

【授業】

- ・授業の初めに本日の流れを説明し、「すららドリル」に各自ログインさせて小テストを開始させる。
- ・学習管理画面で生徒の実施状況を確認し、正答率の低い生徒には解法のヒントを助言する。
- ・早く解き終わった生徒には他の履修範囲のユニットに取り組むように伝える。



↑ 学習の様子



↑ 生徒のリアルタイム実施状況（教員画面）

【本時と家庭学習との連動】

- ・間違えた問題は自動的に復習登録がかかるため、課題として家庭学習に活用するように連絡し、復習登録の実施も期限を設定して他の提出課題と同等に扱う。
- ・本日欠席した生徒に対しても、Classroom を利用して「すららドリル」に取り組むよう伝える。